****

**ルーカス･ゲニューシャス（ピアノ）**
Lukas Geniusas, piano

ルーカス・ゲニューシャスは1990年7月1日モスクワ生まれ。5歳のときにモスクワのショパン音楽大学の予備コースでピアノを習い始め、そのまま同校に進学し2008年に首席で卒業。幼少時から国際的なコンクールや音楽祭に参加。モスクワ国際ショパン青少年ピアノコンクール2004（2位）、ソルトレーク・シティのジーナ・バッカウアー 青少年ピアノコンクール2005（2位）、スコットランド国際ピアノコンクール2007（2位）、第7回青少年デルフィック・ゲーム・ロシア2008（金メダル）、イタリアの第3回サンマリノ・ピアノコンクール（2位）、イタリアのピアネッロの国際ピアノコンクール「ムジカ・デラ・ヴァル・ティドーネ」2009年（1位）、ジーナ・バッカウアー青少年ピアノコンクール2010（1位）、そして2010年10月ワルシャワでの第16回ショパン国際ピアノコンクールの銀メダル（2位）がその例である。
これまでに共演したオーケストラには、ハンブルク交響楽団とデュースブルク交響楽団、ＢＢＣスコットランド響、クレメラータ・バルティカ、カトヴィツェ・ラジオ、ワルシャワ・フィルなどがあり、クレーメル、ボレイコ、ソンデツキス、シトコヴェツキー 、ヴィット、コフマン、リス等とも共演している。これまでにフランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ポーランド、リトアニア、日本、韓国、米国、ドイツで演奏。デュスニキズドロッジ、ラインガウ、ルール、ロッケンハウス等の著名な音楽祭に参加した。2012/2013シーズンにはデンマーク各地を回るツアー、ミラノのサラ・ヴェルディのデビュー・リサイタル、ソルトレーク・シティのユタ交響楽団との再共演が予定されている。ウラディーミル・スピヴァコフ財団とムスティスラフ・ロストロポーヴィチ財団の奨学金を授与されており、New Names Foundation Concerts の常連の受賞者である。ロシア連邦の連邦奨学金である「若き才能」を2005年に、「21世紀の才能ある青少年」を2007年に受賞。